

# 議会だより

■発行 奈良県宇陀郡御杖村議会  
■編集 議会広報委員会 ☎0745-95-2001(代表)  
■URL <http://www.vill.mitsue.nara.jp>



## 子ども議会だより 特別号



むらの明日、  
私たちの未来を話し合おう



### 平成30年 御杖村子ども議会 議事日程 平成30年7月12日(木) 午前9時00分 開会

- 第1 開会宣言
- 第2 御杖村議会 議長あいさつ
- 第3 議席の指定
- 第4 会議録署名議員の指名
- 第5 会期の決定
- 第6 行政職員の自己紹介
- 第7 子ども議員の自己紹介
- 第8 村長政策方針説明
- 第9 一般質問
- 第10 村より講評
- 第11 御杖村議会 副議長あいさつ
- 第12 閉会宣言

議長	4番	岸田楓生
副議長	2番	今西凜太郎
議員	1番	井嶋光里
議員	3番	川合奈緒
議員	5番	盛岡小冬実
議員	6番	藪内心優
議員	7番	山尾和季

午前10時29分 閉会





# 7月12日(木)に開催された子ども議会。

御杖中学校2年生の7名を議員として、子ども議会が開催されました。子どもたちの真剣な眼差しと、気持ちのこもった質問から、御杖村への思いが感じられる議会となりました。

## 子ども議会とは

子ども議会は、子どもたちが村議会の模擬体験を通じて、村の将来や現状の課題について自主的に考え意見を表明することにより、地域の一員としての自覚と、村づくりに参加する意識を育むとともに、村議会や行政に対する関心と理解を深めることを目的として開催されました。

子どもたちは、社会科の授業や話し合い、事前学習を通じて本番に向けて準備を進めてきました。

当日は、子ども議員の質問や提言に、村長が答える形式で行われました。

※3ページから子ども議員の質問と村長の答えを紹介しています。

## ◎子ども議会を開催して(村議長よりひとこと)

子ども議会を開催するにあたって、出前講座として2度ほど中学校におじゃましました。講座では、議会のしくみや議事進行について議会から説明を行い一緒に学習を深めました。

また子どもたちが、真剣に村の課題について話し合い、各自の質問や村への様々な提言を考えまとめていく過程、議長と副議長を選出し、当日の次第に従って進行確認を行い取り組む様子を見せていただき、共に村の未来を考えられる素晴らしい機会だと感じました。

子どもたちの純粋な願いや、思いを取り入れた村づくりを議会として大切にしたいと思います。



## 一般質問

※紙面の都合上、質問順と掲載順が一部異なります。



1番 井嶋光里

### 議会の男女共同参画

#### “質問”

今、御杖村には女性議員が一人もいません。

女性議員がいないと、考え方が偏ってしまうと思います。特に、子育てのことに限っては、女性の視点が必要だと考えます。女性議員を増やすために、まずは女性が働きやすい環境をつくるのが大切だと思います。

女性議員と、今の御杖村の議会における女性の参画についてどうお考えですか。

#### “村長答弁”

過去においても、本村では女性議員は誕生しておらず、一人の方が立候補したことが一度あるのみです。

全国の市町村議会を見てみましても、「女性議員ゼロ」の市町村議会が352議会あり、全体の2割となっております。

ご指摘の女性の視点についても、子育てや介護などを主に担ってきた女性の視点は、欠かすことができないものと考えています。

ただ、議員になるためには、公職選挙法に基づき立候補をして当選しなくてはなりません。本村議会でも、開かれた議会として、村広報紙に「議会だより」のコーナーを設け、議会内容の掲載をしています。

今後女性の方も立候補いただき、新たな視点を持って議会に参画していただけたらと思います。

女性の働きやすい環境の整備

### 林業の担い手対策

#### “質問”

今、御杖村では林業をする人の減少、高齢化が進んでいます。村で林業をする人を増やそうという活動もされているようですが、やり方が漠然としていると思います。

私は、林業をしたいと考えていても、なかなかできない都会の人を連れてくるといいと思います。また、その人たちに良い条件で家などを用意すれば、多くの人が来てくれるのではないのでしょうか。もしそのまま住んでくれる方がいたら、人口増加にもつながると思います。林業をする人を増やす方法についてどうお考えですか。

#### “村長答弁”

ご質問の林業従事者を増やす方法ですが、平成27年の国勢調査によると、御杖村では林業を主な仕事とされている方が26人と、村の面積の95%を占める山林に対して、人口の1.5%の人しかいないとの結果がでています。

そのことから、空き家や村営住宅を活用し定住の促進を図るとともに、広報紙などで紹介している農業での地域おこし協力隊と同じく、林業をしよう地域おこし協力隊の募集を行っています。また、森林組合でもハローワークに登録して職員の募集を行っています。

しかし、林業の仕事はまだまだ人の手による作業が多く厳しいことと、経営の安定が難しいことから応募のないのが現状です。

ひきつづき協力隊の募集を行うとともに、林業に従事する人の対策や支援を考えていきたいと思っています。



### 人口減少対策

「質問」

人口について質問をします。今は、御杖村では、年々人口が減ってきている、少子高齢化が進んでいます。

将来的には、今より人口が増えるとは思っていないけど今の人口をキープしたり、子どもとかを多くするのは、できると思います。

やはり学校とかの給食のお金みたいにほかも安くしたり、新たなお店とかを増やすと良いと思います。

今の人口を減少させないためにどうするお考えですか。

「村長答弁」

全国的に少子高齢化、過疎化



### イベントのPR対策

「質問」

御杖のイベント(祭り)について質問します。今の御杖の祭りはだんだん人が減ってきている人が少なくなってきたいます。例えば神末の祭りの場合、太鼓台をする子供が少なくなっていて菅野の祭りも神末の祭りと同じように参加する人が少なくなっているという傾向がみられます。

だから、私の理想としては御杖に人を呼んで参加してもらう、または祭りがある時だけ参加してもらうなどしてにぎやかな祭りにしたいなと思っています。

参加してもらうために御杖の祭りのPRをして「楽しいので

が進行しているなか、御杖村において、未だかつてないスピードで人口の減少が進んでいます。現在の人口減少に歯止めをかけるのは大変難しいことではあります。将来の御杖村の維持・存続を考えますと、若い世代をターゲットに移住促進に取り組まなければなりません。

### 木の伐採と活用

※ 「質問」

御杖村といえば豊かな自然と思いがちです。特に木(スギ)がとて多くなっています。

しかも、森林の方が住んでいる面積よりも多くなっています。

理想としては、このあり余った、多くの木を少なくしてこの木を何かに使えないかと思っています。

考えられる対策は、スギの木でイスや、小物を作って販売したり、飾りなどをお店とかに置かしてもらったりして、木を少なくすると思っています。

切るのもお金がかかってしまうと思いますが、このままだと何も変わらないと思います。木(スギ)の伐採や、活用法についてどう考えていますか。

ひ参加してください」などの声かけをしたいと思います。御杖村のイベントをもっと知ってもらって参加してもらうためにどうお考えですか。

たいと考えています。また、若い世代の方に移住していただくことが、結果として地域のお祭りを継続させることにつながると考えており、人口減少対策を進め、移住につなげて行きたいと思っています。

※上記2人の関連質問に対し、

非常に縁のある倭姫命をブランドイングすることで、御杖村の木工品を特別な存在にしたいと考えています。

また海外への木材輸出についても取り組んでいきます。経済発展の著しい東南アジアをターゲットとして考え、御杖村として特に、タイをメインにしたいと思っています。昨年の12月に日本の大学とタイの大学、そして御杖村の3者がタイにおける木造建築技術の伝承と普及に関する合意書を締結しました。今後タイでの木造住宅の普及と御杖村の木材利用の促進を目指し、御杖村の木材を使ったモデル住宅をタイに建築することとしています。

またその他に、昨今の国内での小屋ブームや、国内キャンプ場にあるバンガローの更新時の需要を考えて、御杖村の木材を使った小屋キットの販売に取り組みたいと考えています。

またその他に、昨今の国内での小屋ブームや、国内キャンプ場にあるバンガローの更新時の需要を考えて、御杖村の木材を使った小屋キットの販売に取り組みたいと考えています。

### 木の活用方法

※ 「質問」

御杖村には、たくさんのお木があります。でも、木がたくさんあるのにあまり活かしていないと思います。

だから、木を使っていますや机など御杖に必要な物を作った御杖の木の良さをと知ってもらうようにしたいいなと思います。

例えば、三峰山にある休憩所のいすを新しい物に変えたり、店を作ったりしたりするなどの事をしたらいと思っています。

御杖村の木の活用法としてどんな事をお考えですか。

一括答弁となりました。

現在、御杖村として取り組みを進めておりますのは、まず木材加工品の商品化に取り組んでいます。ただ木材加工品もたくさんありますが、御杖村の木工品として他の地域との違いを出すために、伊勢市の事業者を中心に立ち上げられる予定の「ヤマトヒメブランド」への参画に取り組んでいます。木工品以外の商品と同じコンセプトを持ち、御杖村

「村長答弁」

御杖村はご存じのとおり約95%が山林であり、木材がとても豊富にあります。最近では木材価格の下落により林業全体が不振であります。ただ、御杖村の木材を活用することは、とても重要なことで、御杖村の木材を活用した商品化は村民の皆さんにも潤いをもたらせることにもつながります。また昨今の地球温暖化といった環境問題への取り組みとしても木材の活用はとても意義のあることだと考えます。





3番 川合奈緒

### 村特有のイベントと集客対策

「質問」

正直に言いますと、大きなイベントは御杖村にもそこそこありますが、わざわざ県外から来てくれる人は少ないと思います。夏祭りや桜祭りなどはあるけれど、都会に行けば行くほど派手で規模が大きいのと思います。ならば私には、この自然豊かな御杖村にしかできないイベントを二から作ってみたらいいと思います。

御杖村にたくさん観光客が来てもらうために、今何を考えていますか。

「村長答弁」

現在、村内イベントは、夏祭りや桜祭り以外に、5月は「伊勢本

街道観光マラソン」や「三峰山の白ツツジと新緑観賞登山」、6月は「虫観賞会」、8月は「三峰山夏山ハイキング」、10月は体験交流館の廊下を利用した「ザ・雑巾ダッシュ」、1月から2月は「三峰山の霧氷登山」が開催され昨年度、約7千人を超える村内の方に参加していただいています。また、7月には神末の岡田の谷に群生している「半夏生」の観賞にも多くの方に来ていただいています。これらは、御杖村の自然や資源を活用した、御杖村ならではのイベントです。

これらの情報は、ホームページ、フェイスブックやインスタグラム、村の観光PR大使である「つえみちゃん」のフェイスブックなどを利用して情報の発信を行っています。

昨年、村観光協会ではインスタグラムによるフォトコンテストを実施し、たくさん写真を投稿していただき、また多くの方にシェアしていただき、御杖村の良さの情報発信になったのではないかと

思っています。

今後は、より多くの方々に来ていただけるよう、イベントを更に魅力あるものにするともに、新たなイベントの発掘にも取り組んでいきたいと考えています。

また同時に、インターネットを活用したイベント情報の発信にも、引き続き取り組んでいきたいと思いをします。

### コンビニの設置

「質問」

御杖村には商店はありませんが、コンビニがありません。ファミリーマートなどのコンビニが御杖村にあつたら、飲み物やパンなどの食料品はもちろん、雑誌や文具を買うことができます。

さらに、宅配物やチケットを買うことができます。ATMで現金を預けたり、引き出すことができます。

コンビニがあれば、買い物に便利になります。また、災害時には、食料庫として利用することができます。

コンビニがあれば、子供からご老人までのちよつとした買い物の手助けになると思います。コンビニを作ることにどう思いますか。

「村長答弁」

御杖村のような過疎地でコンビニを経営しようとすると、まず問題となるのが売上額確保と利用者数です。このことにより出店されている例が少ないのが現状です。また過疎地においては商店が少なく、買い物対策が課題となっていることも事実です。

このような中、コンビニについては住民の要望により過疎地に見合った店づくりを行って、経営をされているような新たな動きもごさいます。

本村におきましても村民の方々のご意見をお聞きし、コンビニへの要望が多ければ、村内での出店について検討してまいりたいと思いをします。



4番 岸田楓生

### SNSを活用した移住定住対策

「質問」

現在、都会の方では、保育園が足りていないため親が子どもを自宅で育てる自宅保育という状態になっています。これには親がとても困っています。

そこで僕は、将来の御杖のため、御杖村の活性化のために保育園児が増えると思いいます。それに、保育園児が増えることで今後の少子高齢化対策のためにもなると思います。

SNSを通じて都会の人を呼びこんで人口を増やすべきです。最近流行の発信手段をもっと有効に使うことが大事です。

御杖の少子高齢化対策の一環として、SNSを有効に活用することは出来ないのでしょうか。

「村長答弁」

村の情報発信手段は、ホームページやパンフレット等の印刷物のみとなっております。議員からご提案いただきましたソーシャル・ネットワークキング・サービス、略称SNSは、観光協会の方では使用されておりますが、村の方では、今のところ充分活用できていません。

現在、村はホームページのリニューアル作業を進めており、情報をリアルタイムに伝え、拡張性もあるSNSを活用することは、非常に有効であると認識しており、ホームページと組み合わせることによりさらに効果を発揮するものと考えています。

少子高齢化は村が抱える大きな問題ですが、逆に、「こないないところがあるんですよ」と伝えられないかと考えています。

御杖村に住んでみたいと思える伝達手段として、SNSの利用を改めて検討して行きたいと考えています。

### 森林を活かした観光振興

「質問」

現在、御杖村は宅地よりも森林面積が上回っている状態です。もし御杖村の人口が急激に増えたとしたら、このままでは宅地間に合いません。

そこで僕は、将来たくさん人が増えたとして宅地間に合わないとなつたら、このたくさんある木を少しでも伐採して宅地に変えられないのかなと思います。切った木をどうするかというと、木を切った辺りでアスレチックを作っても面白いと思います。

まとめると、森林を伐採し、切り開いたところに、アスレチックなどの観光スポットをつくり、その隣に宅地を設けるということだと思います。

今後の森林を活かした観光振興と宅地の開発についてどうお考えですか。

「村長答弁」

一昨年に、奈良県と御杖村でまちづくりについての包括協定を締結しました。これは、みつえ高

原牧場の活用に向けた整備や、特長を活かした観光振興について、奈良県と御杖村が一緒になって進めていくという協定です。その中では、みつえ高原牧場の西側の山林を、一部切り開いて民間畜産牧場の誘致や、眺望を利用した観光ゾーンの整備などを検討しています。

現時点では、観光ゾーンの整備内容については決定していませんが、牧場でできる体験や特産品に加え、眺望を活かした、魅力ある観光メニューづくりに取り組んでまいります。提案いただいた、アスレチック施設も大変おもしろいと思いますので検討したいと思いをします。

また伐採後の山林を活用した宅地開発については、御杖村の山林は急斜面であり、開発には様々な問題を解決する必要があります。先日の西日本豪雨災害により、各地で山林が崩壊し、下流の集落に災害をもたらしたように、災害に対する対策も必要であることから、開発の必要性について慎重に考えたいと思いをします。





5番 盛岡小冬実

### 鉄道の誘致

「質問」

今、御杖村には電車が通っていないため結構不便です。だから、御杖村にも電車を通らして欲しいです。駅は、大字ごとに一つ作って御杖全体に電車が通れるようにして欲しいです。

御杖にも電車を通すことで、都会の人でも簡単に観光しに來られるし、御杖の人でも簡単に都会に行けるようになります。また中学校を卒業したら御杖から電車で高校に通えるようになります。

そのために、電車を通らせるにはお金が必要だと思います。御杖村に電車を通らせることについてどうお考えですか。

「村長答弁」

ご質問の御杖村に電車を通してほしいとの要望についてご返答いたします。

私も子どもの頃には、名張や榛原のように電車が通っていたら、大変便利だと思ったこともありました。

しかし、残念ながら村内に電車を通すのは困難であると考えます。莫大な投資に対して、日々の運賃収入が少なければ、投資した資金の回収は勿論のこと、日々運営する費用を賄えなければ、経営が成り立ちません。

村が単独で鉄道事業を行う場合も同じことが言えます。ただし、村は村民の村内移動また村外への移動、村外からの来村者のために、村独自の公共交通を維持しています。一つは、無料の村営バスで、村内移動はもちろん、榛原方面へはわくわくバスに乗り継ぎ、名張方面へは三重交通バスに乗り継ぎできるダイヤを組んでいます。もう

一つは、村内移動用のドアツードア、自宅玄関から目的地玄関までとして利用いただいております有料のデマンド交通です。今後も村民の移動手段の確保に努めていく所存です。

### 山林の適正管理

「質問」

今、御杖村の木は多すぎてほったらかし状態になっています。私は、木を減らしてもっとスッキリさせてほしいです。木が多いと、動物が増えて畑やハウスの食べ物がとられる被害も多くなります。また、二年前のようにクマが来るかもしれないので、余計な木を切って欲しいです。

そのために、木を切る人が必要です。御杖村の木を減らすことについてどうお考えですか。

「村長答弁」

ご質問のありました放置されている森林の木を減らす対策ですが、御杖村では、平成18年度から「奈良県の県民みんなで、自然災害から暮らしを守り、健全な森林を次の世代へつなぐ」ことを目的とした「森林環境税」を活用して、間伐事業すなわち森を生かすために10年以上人の手入れがされていない山に対して、40%の木を切ることをしています。

間伐をすることで、木と木の間に太陽の光が入れたり、下草を増やして動物が住むことができる環境を整えることにより、森が多くの水を蓄え水害を防ぐとともに、皆さんの家族の方が大変困っています農作物への被害を少なくすることができることから、ひきつづき間伐事業を行ってまいります。

「村長答弁」

御杖村の山などの景観については、戦後、御杖村の田んぼや畑は山の中腹まであり、農地の面積は今の3倍近くありました。しかし、国の政策により杉・桧などの植林が進められ現在の状況となっています。昭和50年頃から、木材は輸入自由化となり、国産材の値段は下がり採算が取れにくい状態となったことから、伐採など行われず見渡す限り杉や桧の人工林となっています。

現在、自然景観や地形を生かしたボブスレーや川遊び、また、キャンプなどでにぎわっている「みつえ青少年旅行村」を運営しています。今後とも、充実した施設として運営ができるよう取り組んでいきたいと思っております。

景観はみんなのものですが土地やそこに植わっている杉や桧は個人の所有物となることから、木を伐採して桧等の紅葉樹を植えることは簡単なことではないと考えますが、次の世代に引き継ぐため山の活用方法について考えていけたらと思います。



7番 山尾和季

### 観光資源の創出

「質問」

御杖村には今あまりにぎわっている観光スポットがなく、観光客が少なく御杖村の良さが広まっていないと思います。

私の理想は、御杖の自然を生かした観光スポットを作ってきてくださった人がSNSで発信し、さらに観光客が増えるというふうになってほしいです。

そのためには、夏は蛭観賞会、冬は霧氷まつりで結構村外からも来てくださっているのですが、春に菜の花などの花がたくさん咲いているインスタ映えもするような所を作ればいいと思います。村としては御杖村のこれからの観光事業についてどうお考えですか。

「村長答弁」

昨年度の村内イベントには約7千人を超える方に参加をしていただきました。これらは自然や資源を活用した御杖村ならではのイベントとして実施をしています。

ご質問の、御杖村の自然を活かしたインスタ映えのする観光地の開発についてですが、現在、丸山公園に彼岸花の植栽を計画しています。丸山公園は、春は桜、夏は蛭といった見所がありますが、秋と冬の見所に欠けるのではと考えたからです。

丸山公園は、道の駅から近く敷地も広いこと、トイレや遊歩道の整備もなされていて、たくさんの方の観光客を呼び込むことが出来ると考えています。

また村内に点在する観光地に訪れやすいようなモデルコースの考案も必要であると考えています。

今、「インスタ映え」という言葉があるように、写真映えのするスポットや物が人気を集めています。このような時代の動向に即した観光地の開拓や整備

は、とても重要であると考えます。御杖村に来て下さった方々の声を聞きつつ、今後の観光地の開発に取り組んでいきたいと考えています。

### 山林の活用と景観形成

「質問」

御杖村の山には、とても杉が多く見た目があまりパツとしていなく、たくさんある御杖村の山をあまり観光に活かせていないと思います。

私は、山をながめたら春には桜が一面に広がっている、秋には一面がもみじで赤くそまっているような季節で変わる楽しみが欲しいです。

そのために、まず多すぎる杉の木は伐採してその部分に桜やもみじ、季節の名物のものを植えたらいと思います。また、観光客の方が利用する駐車場やご飯を食べられる施設などを作るとうれしいと思います。

御杖村の山などの景観について今後どうするお考えですか。





子ども議会本番までの取り組み

- 6月 6日 村議会 6月定例会を見学
- 6月 15日 社会科授業(御杖村の現状と将来)
- 6月 22日 社会科授業(村正副議長の出前講座)
- 6月通して 社会科授業(世界と日本と御杖村の人口、エネルギー、産業)
- 6月 28日・29日 一般質問を考える
- 7月 6日 社会科授業(議事進行・村議長の出前講座)
- 7月 11日 校内リハーサル



今回、一般質問を考えるにあたり、何を質問しようかと悩んだことだと思います。本日の皆さんの質問は、どれも重要で良い質問で感じました。この思いを持って、将来皆さんが、御杖村に残って活躍してくれたら本当にうれしいと感じています。



子ども議員の皆さんが、村議会の6月定例会を傍聴して『裁判所のように厳粛な雰囲気緊張しました』というふうな感想持ったと聞かせていただいた。その後6月22日には、盛岡議長による『議会の活動・仕事について』という出前講座も受けていただきました。

結びに、村長はじめ管理職の皆様、そして本日傍聴に来ていただいた皆様方、子ども議会開催に向け、ご理解とご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

◎ 子ども議会を終えて(村副議長より)

子ども議会を体験して  
~7名の子ども議員の感想~

私たちも、今回の経験を生かして御杖村の将来を明るくしていくのに少しでも貢献していきたいです。

今の御杖村と向き合えた気がしました。御杖村の将来をどうすべきか自分なりの意見を考える良い機会になったと思います。

最初はどんな話をしたらいいのかよく分からなかったし、緊張しそうだなと思っていました。でも質問を考えているうちに楽しくなってきました。

自分が考えたことを前に立ってたくさんの人に伝えることは難しかったけど、楽しかったです。今まで興味がなかった選挙や政治に少し興味がわきました。御杖村の活動についても注目してみたいと思いました。

自分が質問したことにに対して、村長さんがわかりやすく説明してくれ、これからの御杖村について考えることができました。

議会見学では、難しい話を聞いて自分たちが本当にできるかなと不安でしたが、当日をむかえてやると、不安もなくてとてもスムーズにできました。

自分たちの主張をしっかりと受け止め検討していただけるのはとてもうれしいです。

議長をすることになって難しいこともあったけど、アシストしていただけて無事終わることができました。人生で指で数えられるぐらい良い経験だと思いました。

議会について堅苦しいものだと思っていましたが、みんなで考えていくうちに楽しいと思えました。私たちが出した意見が今後の御杖村につながると思うとワクワクします。

